

# 決算報告書

第10期事業年度

自 平成25年 4月 1日  
至 平成26年 3月31日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構



## 平成 25 年度 決算報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	30,922	30,962	40	(注 1)
うち補正予算による追加	—	24	24	
施設整備費補助金	8,385	4,734	△3,650	(注 2)
補助金等収入	619	954	335	(注 3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	61	86	25	(注 4)
自己収入	154	174	20	
雑収入	154	174	20	(注 5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,429	3,410	△18	(注 6)
目的積立金取崩	—	13	13	(注 7)
計	43,570	40,336	△3,234	
支出				
業務費	31,076	29,792	△1,283	
教育研究経費	31,076	29,792	△1,283	(注 8)
うち補正予算による追加	—	24	24	
施設整備費	8,446	4,820	△3,625	(注 2)
補助金等	619	951	332	(注 9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,429	3,203	△225	(注 10)
計	43,570	38,767	△4,802	
収入－支出	—	1,568	1,568	

○予算と決算の差異について

(注 1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった前年度からの繰越しなどにより、予算額に比して決算額が 40 百万円多額となっています。

(注 2) 施設整備費補助金及び施設整備費については、平成 24 年度補正予算第 1 号により措置された事業のうち、不測の事故（ヘリウムの世界的不足等）により翌年度に繰り越した事業があったことなどにより、予算額に比する決算額が施設整備費補助金は 3,650 百万円、施設整備費は 3,625 百万円それぞれ少額となっています。

(注 3) 補助金等収入については、研究大学強化促進費補助金の交付及び平成 25 年度補正予算第 1 号

により設備整備費補助金が措置されたことなどにより、予算額に比して決算額が 335 百万円多額となっています。

- (注 4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、交付額の増加により、予算額に比して決算額が 25 百万円多額となっています。
- (注 5) 雑収入については、国立天文台が主催した Subaru 国際会議の登録料収入等により、予算額に比して決算額が 20 百万円多額となっています。
- (注 6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究、受託事業、共同研究及び科学研究費間接経費による収入が見込みよりも多額となったが、寄附金収入が見込みよりも少額であったため、予算額に比して決算額が 18 百万円少額となっています。
- (注 7) 目的積立金については、研究大学強化促進事業の開始に伴いスタートアップ経費として執行したため、予算額に比して決算額が 13 百万円多額となっています。
- (注 8) 教育研究経費については、業務達成基準適用業務の業務未実施分に係る運営費交付金相当額の繰越しなどにより、予算額に比して決算額が 1,283 百万円少額となっています。
- (注 9) 補助金等については、研究大学強化促進費補助金の交付及び平成 25 年度補正予算第 1 号により措置された事業のうち、生理学研究所の超解像脳磁計記録・解析システムが納品され事業が完了したことなどにより、予算額に比して決算額が 332 百万円多額となっています。
- (注 10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金の繰越しなどにより、予算額に比して決算額が 225 百万円少額となっています。